



自治体連携 (一社)南予森林管理推進センター(宇和島市・松野町・鬼北町)

○愛媛県南予流域は、県内におけるヒノキの主産地として森林組合や林業事業体を中心に、植林や保育などの管理がなされてきたところであるが、近年、高齢化や急激な人口流出により、森林・林業に携わる担い手は減少を続け、また、過疎化の進行により所有者不明森林が増加し、権利関係が複雑化するなど、思うように森林整備が進まない状況が生じており、公的支援による新たな森林整備に対する取り組みが求められていた。

○このため、南予流域の1市2町が一体となって新たな森林管理システムを推進するため、令和元年から譲与が開始された森林環境譲与税を活用し、新たな連携組織『一般社団法人南予森林管理推進センター』を令和元年12月20日に設立した。

○当センターでは、意向調査の実施など、『森林経営管理制度にかかる業務』(市町でしかできない業務を除く)を実施するとともに、人材の確保・育成を目的とした『南予森林アカデミー』を開講し、総合的な研修を行い、森林・林業の基本的な知識の習得、現場実習を通じ基礎技術の習得、現場で必要とされる資格の習得を目指している。

□ 事業内容

1 センターの概要

・「新たな森林管理システム」では、適正に管理が行われていない森林について、市町は「主導的役割を果たすべき主体」として位置づけられているが、林業に関する専門的スキルを有する職員が絶対的に不足しており、これらの業務を地域全体の問題と捉え、支援する組織として設立された。

・当センターでは、市町や森林組合との連絡調整や技術的支援を行い、森林の健全化と災害に強い森林づくりを推進していくこととし、「森づくり」「人づくり」を2本柱として重点的に取り組んでいる。

・「森づくり事業」は、各市町と連携を図りながら森林経営管理制度を推進している。

・「人づくり事業」は、『南予森林アカデミー』を開講し、研修を通じ即戦力となる人材の確保・育成を目指している。

2 事業の内容

事業費 18,100千円・・・各市町負担金(全額森林環境譲与税)

意向調査 宇和島市三浦・下波・遊子・蔭淵地区 1761.42ha

松野町富岡地区 620.13ha

鬼北町北川・一部の奈良地区 523.91ha

集積計画 宇和島市 6.80ha

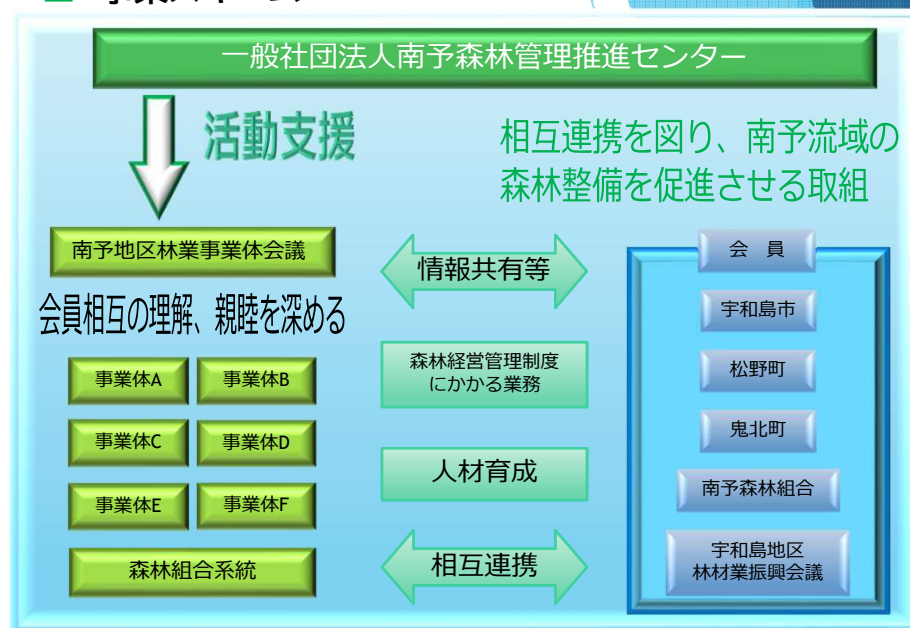
松野町 2.73ha

鬼北町 1.93ha

市町事業 松野町 1.26ha

鬼北町 1.82ha

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

・意向調査の回答結果を、林業事業体へ情報提供することにより(回答時に情報提供の同意書の返送があった方のみ)、自主的な事業の実施等を促し、森林整備の促進を図ることを目的とした、IMM(インフォームド・マネジメント・メソッド 情報に基づく経営管理方式)を確立。

・当センターが運営する『南予森林アカデミー』では、1年間の長期研修または約4か月の短期研修を受講することにより、総合的なカリキュラムを通して、森林林業の基本的な知識の習得とともに、インターンシップ等による現場実習で基礎技術を習得し、現場で必要とされる資格の取得を目指し、即戦力となる人材育成に努めている。